

令和3年度 卒業式 「式辞」(全日制)

本日、晴れの日を迎えられた122名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまでの皆さんの努力と研鑽を称えると共に、晴れの門出を心からお祝い致します。この希望に満ちた「佳き日」、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、「令和3年度 福井県立丸岡高等学校 第74回卒業証書授与式」を挙げていきますこと、高い所からではございますが、心より厚く御礼を申し上げます。

また、保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業、本当におめでとうございます。今日まで深い愛情を注いで育ててこられたご苦労を思うとき、本日のお喜びは、いかばかりかとお察し申し上げます。心よりお祝い申し上げます。

思い出深き、学び舎を巣立ち、夢や希望を持って、新たな活躍の場に踏み出そうとされている卒業生の皆さん、振り返ってみると、皆さんが入学した3年前から丸岡高校は、皆さんとともに大きく変わっていきました。

校舎正面に文部科学省の研究指定校の看板があるように、グローバル 世界に目を向けながらローカル 地域で行動し活躍する人材を育てる グローカル教育のモデル校となりました。

人間の考える力の基礎は、幼児期に作られるといわれています。それでは、社会に出て働くようになり、社会で活躍できる行動力や実行力、対応力はいつ育まれるか。

それは、多感な高校時代といわれています。

ですから、丸岡高校では、教室での勉強だけではなく、学校を飛び出して地域や県内外など多様な人々との交流や豊富な経験を、数多く積んでももらいました。

その経験が、変化する社会に対応する力を持ち、広い視野で課題を解決し、新たな価値を創造できる力を育てていきます。

今、世界を見てください。ウクライナでの戦争をきっかけとした核戦争への不安、新型コロナウイルス感染症の流行など、これまでここにいる誰もが経験したことがない時代が来ています。

世界や地域の答えのない課題を見つけ解決する力を身に着けた皆さんが、まさにこれからの先の見えない時代を変えていく。

本校で学んだ皆さんの時代が来たともいえるでしょう。

文部科学省の3年間の研究指定も皆さんの卒業とともに正面の看板を下ろすこととなります。

しかし、新年度からは、グローバル教育を基礎とした、みらいの人材を育てる新コースが誕生します。新コースの基礎は、皆さんが作ってくれました。

新入生も、皆さんの活躍する姿を励みにすると思います。卒業後も、本校で学んだことを活かして活躍してほしいと思います。

さて、皆さん、卒業アルバムは見たでしょうか。私は一足早く見せていただきました。笑顔のいっぱい詰まった思い出のアルバムでした。アルバムを見て思い出するのは、3年学年会の先生方は、いつも皆さんを第一に考えてくださっていたことです。

コロナで中止になりそうな修学旅行を、一日でもいいから思い出を作ってやりたい、学校祭でも、先生方が舞台上に上がって3年生の皆さんを楽しませていました。

昨日の歌手によるサプライズ企画でもそうです。最後まで、丸岡高校に来てよかったと皆さんに思ってもらいたいと企画されました。

朝早く、または夜遅くまでの面接や小論文指導。試験対策の特別補講。皆さんが悩んだ時の家庭訪問。

時には、進路のことや学校生活のことで、皆さんと先生方で意見が対立したこともあったかもしれません。それでも、皆さんを一番に考えてくれた先生方の思い。

皆さんと恩師の先生方を、言葉で表すと、団結と絆。これがぴったりだと思います。

皆さんが今日の日を迎えることができたのは、恩師の先生方と皆さんの団結と絆があったことは言うまでもありませんが、

それに加えてご家族の支えや励ましがあったことを忘れてはいけません。

ご家族は、この3年間、皆さんが学校で友達とうまくやっているだろうか、勉強でわからないことはないだろうかなど、様々な心配をしながら、送り迎えや朝早く起きてのお弁当、体調管理などしてくださりました。

また、同窓会やPTAの方々も、皆さんのために多くの支援をしてくださいました。

ですから、そうしたお世話になった方々に対する感謝の気持ちも、どうか忘れないでください。

そして、これからは、皆さんが、周囲の多くの人々を支え、社会のために役立つような生き方を志すよう、心から期待しています。

それでは、卒業生の皆さんの前途に、幸多からんことを祈念し、式辞と致します。

令和4年3月1日

福井県立丸岡高等学校 校長 島田芳秀